

宜野湾高校の生徒達へ（54）

2020.11.2

10月21日に、「総合的な探究の時間(総探)」が行われた。目標は、「興味関心事を深掘りし、マイプロジェクトに繋げる」であった。今回は生徒の振り返りを紹介する。『宜野湾高校の生徒達へ(50)』で「先頭集団にどれだけ迫ることができるか」を課題としてあげたが、クリアすることができただろうか？

まず、振り返りの項目の一つである「本時の取り組みで出たマイプロジェクトに繋がるアイデアをあげてください」の振り返りから紹介しよう！

- ◎プロ選手やスポーツを教えている人をお願いしてスポーツがしたいのにできない人を集めたところに出向いてもらって教えてもらう。道具がない場合はプロ選手や地域の中学校が使わなくなった道具などを寄付してもらい、それを使う。
- ◎私は沖縄の基地問題について取り組むことにしました。基地の人がやっている教会の英会話で話を聞いたり、基地反対運動をしている方の意見などを聞きたい。
- ◎ペットボトルキャップでキャラクターなどのオブジェを作り、老人ホームや福祉施設に寄贈して、色々な人を幸せにしたい。
- ◎今はコロナの影響でなかなか国際的な交流ができないので、オンラインを通して日本に行きたい海外の人と海外に行きたい日本の人が交流できる場を設けたらいいんじゃないかと思った。
- ◎実際今やっているプロジェクトは、高齢者と子どもたちの交流の場を設けるというプロジェクトです。
- ◎サッカーと世界の経済格差がどこか繋がれそうだった。



次に「マイプロジェクト立案のために『自分に足りないと思うところ』『こうできたらプロジェクトを立案できる』をあげてください」については、

- ◎食品ロスについて知るために自分の家での食品ロス、お店などの食品ロスを知る。また、食品ロス削減のために今ある他にできることを探してみたい。
- ◎まずは探してそこからどんどん今の自分達にできそうなことを広げていく。
- ◎なんかの事情でスポーツができない人がどんな人なのか、どこにいるのかななどを詳しく調べたい。
- ◎他のプロジェクトをしている人達からのアドバイスやアイデアをしっかりとマイプロジェクトに取り入れる。
- ◎人と話さず、勝手に決めるくせがあると思うので、しっかり話しているんな人の意見を聞けるようにしたい。
- ◎もっと専門的な知識を得るため、休みを利用して色々な施設へ行く。



「こんなプロジェクトに取り組む（取り組みたいと思った）」については、

- ◎私がやるのは宜野湾市の良いところ発見というテーマで、例えば公園や良いスポットや飲食店などを自分の足で回り、写真を撮って、情報社会になっている今だからこそ、広めるにはインターネットを活用して行こうと思います。
- ◎海外(他国)の困ってる人、恵まれない人達に水などを配りたい。インターネットで寄付したい。ユニセフみたいなことをしてみたい。
- ◎沖縄の歴史を知って、基地反対している方だけの意見を聞くのではなく、基地で働く日本人やアメリカ人にも意見を聞きたい。
- ◎食や音楽など共通の趣味などを通して、LGBTや差別されている人達と関わっていく。関わることで、世間に流されてなんとなく持っていた考えなどが変わって行くと思う。
- ◎英語の授業などで、海外の方とのビデオチャットや、交流を深め文化や国の状況を知りたい。
- ◎サンゴの植え付けなどもしてみたいなと思いました。



上の振り返りから、先頭集団に迫る生徒が増えてきていることがうかがえる。HR 担任が「進路について見通しをもっている生徒ほど総探の取組も順調です」との情報もあった。総探に真剣に取り組むことが皆さんの進路実現に繋がる。来週は、「マイプロジェクトテーマ設定、アクションプラン作成」。これまで以上に、集中力と仲間とのコミュニケーションが求められる。

「自走」している生徒の活動を見るにつけ、皆さんの可能性を感じずにはいられない。頼もしくも思う。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎